



ラカム

International School Japanese Section in Riyadh

リヤド日本人学校

学校便り 5月号

2014年(平成26年)5月1日

本校在籍児童生徒数(4月1日現在)小学部 11名, 中学部 0名 計 11名

5月の生活目標 一生けん命がんばるすがたって素敵だね

百聞は一見に如かず

校長 鈴木 薫

始業式から早くも一カ月が過ぎ、子供たちの元気な声が響いている。今週からは水泳の授業も始まり、本年度もだんだん軌道に乗ってきた。

先月は二回の交流行事があったが、やはり実際に体験することの大切さを改めて感じた。

最初の訪問は、幼稚園で上級生には少し、幼すぎたかもしれないが、サウジの幼稚園では何を学び、どんな遊びをしているのかを肌で感じる事ができた。園児は英語を学習しており、珍しい遊具や、カメと遊んだり、絵をかいたりして過ごした。何よりサウジの子供たちと一緒に過ごすことが貴重な体験であった。

トルコ国際学校の発表会は、とても大がかりで、リヤドにあるほかの国の学校が、何校も招待されていた。各国の子供たちは民族衣装に身を包み、歌やダンスをはにかみながらも誇らしげに発表していた。その中で、本校の子供たちも、浴衣やはっぴ姿で歌と太鼓の演奏を披露した。堂々とした発表に子供たちの持っている力を感じることができた。

外国で自然な形でほかの国の子供たちと交流し、様々な交流をすることで身につけることはとても多い。今後も積極的に学校の外へ出て、様々な体験をさせたいと思う。

火が起こせない、卵が割れない、包丁が使えないなど、日本の子供たちの体験の不足が指摘されてから久しい。マッチを使うことなど日常の生活ではほとんどないし、ましてや調理の火をおこすことなど、キャンプに行ったときぐらいである。だから林間学校の引率などでは、びっくりするような情景を目にする。

何事もやったことがなければ、できるようにはならない。また大人になってから身につけるには難しいこともある。やはり子供たちにできる時に、できるだけ体験させ、体験を通して様々なことを、身につけさせるよりことはとても効果的であり、大切なことである。六年生が家庭科の実習で炊いたご飯をごちそうになりながら、これも生活する力の一つと思った。

平成26年度 学校教育目標

調和のとれた人間性豊かな児童生徒の育成

めざす児童・生徒像

- ① 進んで学ぶ子
- ② 思いやりのある子
- ③ ねばり強い子

重点事項

- ・基礎基本の確実な定着（思考力、判断力、表現力の育成 読書活動の充実）
- ・心の教育の推進（道徳教育の充実、縦割りグループ、体験学習）
- ・健康な心と体づくり（体育学習、体育的行事、体力づくり）
- ・特色ある学校づくり（少人数指導、現地理解教育）
- ・国際性豊かな児童生徒の育成（英会話、アラビア語、交流学习、見学学習、講演会）
- ・安全な学校づくり（防災・避難訓練、大使館、日本人会など関係諸機関との連携）
- ・信頼される学校、開かれた学校づくり（保護者との連携、授業参観・懇談会、教育相談）

5月行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木		17	土	
2	金		18	日	
3	土		19	月	
4	日	全校集会	20	火	水泳教室④
5	月	こどもの日	21	水	
6	火	水泳教室②	22	木	
7	水		23	金	
8	木		24	土	
9	金		25	日	
10	土		26	月	
11	日		27	火	水泳教室⑤
12	月		28	水	
13	火	水泳教室③	29	木	
14	水		30	金	
15	木		31	土	
16	金				

6月の主な行事

発育測定（2日） 英語検定1次（8日）体験入学開始（15日）児童英語検定（19日）